



「道修町ミュージアムストリートと適塾」に参加して！

3月8日二班に分かれて寒風吹きすさぶ中、まずは薬の神様＝神農さんと親しまれている少彦名神社へ。そして隣の道修町資料館、漢方の原料や昔懐かし置き薬等を見学。斜め向かいの杏雨書屋（武田薬品の資料館）、大日本住友製薬の外から見るギャラリー、塩野義製薬では江戸時代の薬の宣伝文、田辺三菱製薬ではビデオも含めガイドさんから社史や展示物を詳しく説明して頂きました。300m足らずに製薬会社のミュージアムが4カ所も集中している道修町の凄さにビックリ。



緒方洪

庵の「適塾」は、解体修復したとはいえ江戸時代の建物が良く残ったものです。

急な階段を上り二階に行くと明治維新の頃活躍した大村益次郎、福沢諭吉等幾多の人たちが勉学に励んだ、否 滅茶苦茶勉強した部屋などがあり、柱には刀傷も残っていました。沢山の人材を育てた教育者「緒方洪庵」も凄いが天然痘予防、コレラ予防と医者としても

凄い人。今日は薬への認識を新たにすると共に 大坂の偉人の凄さを再確認した有意義な一日でした。

